

研究情報公開

受付番号	
研究課題名	「食事動作の代償方法獲得により胃瘻抜去となり在宅復帰を果たした仮性球麻痺の一例」
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院
研究実施者	リハビリテーション部 言語聴覚士 久高 健汰
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的] 重度仮性球麻痺症例が自力摂取となり在宅復帰を果たした報告は少ない。重度仮性球麻痺で胃瘻造設をした症例に機能訓練と併用して食事の代償方法を指導した結果、胃瘻抜去となり在宅復帰を果たした症例を経験した為報告する。</p> <p>[研究の方法] 1症例報告 ●対象となる方 当院入院していた患者様 ●利用するカルテ情報 ①年齢 ②性別 ③入院疾患名 ④基礎疾患情報④ ●カルテ情報の利用方法 上記のカルテ情報は、患者さんの治療の有効性を分析する材料とします。</p> <p>[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究期間	承認日～令和3年6月末日